

5年	単元名	すいせんします (話す、聞く)	4時間
単元の目標	1) 話題に関する情報を集め、目的に応じて、明確に伝わるように、話を構成することができる。 2) 場に応じた適切な言葉遣いで、話し言葉と書き言葉の違いに気づくことができる。→ (話す、聞く) 3) 相手 (聞き手) を納得させるようスピーチを工夫することができる。(文や口調の工夫) → (話す)		
日本語の目標	ぼく・わたしは●●をすいせんします。理由は～ からです。 (資料を見せながら) この資料を見てください。これは●●です。× ×だと思いませんか。		
学習課題	相手の共感を得られるための文章の工夫や資料の添付をし、すいせんの理由を明確にできる。		
主な学習活動	1) 「すいせんする」意味について知り、考える。2) 話題を選び、適切な資料を探す。 3) 相手を意識し、スピーチの内容や構成を考え、構成を書く。 4) 声の強弱、スピード、間の取り方に気をつけて構成メモに沿ってスピーチをする。		

学習活動計画

時限	内容	活動	ポイント
1	学習課題をつかむ (1月11日)	単元目標「ここに旅行に行ってみてコンテスト」で No1 になろう! <本時のめあて> 説得力のあるスピーチの構成や、表現を考えよう 1) めあてを知る、学習計画を立てる (P190)こ 2) ディズニーランドの文例を使用し、実際に教員のスピーチを聞いて、紹介 (どんな場所) の仕方や優れたところを学級で話し合う。すいせんカードを模造紙に書き、板書したものに答えを書き出していく。(ブレインストーミング) 3) 教科書 P191,を読み、スピーチの構成について考える。 →すいせん理由を明確にしていると、説得力があることを振り返る。(P191)	ディズニーランドを例に挙げブレインストーミングをすることによって、 どんな風に説明すると相手に対象物の良さが伝わるか 、もしくは伝わりにくい原因を考える。 発表の時にコンテスト形式でみんなのお勧めの場所から、「一番行ってみたい場所」No1 を決定することを伝える。
	家庭学習課題	すいせんカードに記入をする、資料を見つける	学級頼りなどで家庭学習の内容を補足説明しておく
2	自分のすいせんする事柄について考え、その理由を明確にする。	<本時のめあて> すいせんしたい場所 (旅行に行くのにオススメのスポット) に合う、説得力のあるスピーチを考えよう。 1) 1校時の学習の振り返りを振り返りシートを使って行う。 2) すいせんカードをもとに、すいせんする理由をはっきりさせ、整理する。 3) 振り返りシートを使って学習を振り返る。	初め、中、終わりの構成でそれぞれの「内容」に気をつける。 日本語力に応じて、異なったスピーチメモを用意する。
	家庭学習課題		
3	スピーチメモに基づいたスピーチの工夫を考える。	<本時のめあて> 説得力のあるスピーチの工夫について考え、スピーチの練習をしよう。 1) デジタル教科書のビデオを見ながら効果的なスピーチの工夫について話し合う。(話す速さ、声の強弱による強調、資料の使い方、間の取り方など) 2) 「説得力のある」スピーチを意識して練習する。 3) ペアになり発表を聞き合ったり互いに意見を交換したりする。 4) 振り返りシートを使って学習を振り返る。	「説得力のあるスピーチ」の仕方 (発表の仕方) を映像で考えさせたりイメージさせたりする。 日本語力に応じて発表の際のスピーチメモを利用させる。 発表練習はペアで行う。(発表に対する不安感の低減。)
	家庭学習課題	「説得力のあるスピーチ」にするために、「スピーチの工夫」を意識して練習を行う。	
4	1) スピーチをする。 2) 友達のスピーチを聞く。 3) 学習を振り返る	<本時のめあて> 「説得力のあるスピーチ」を意識して、発表したり友だちの発表を聞いたりしよう。 1) スピーチの工夫について確認する。 2) 1人ずつ発表する。 聞くひとは「オーディエンスカード」に発表者のすいせんについて評価を書き留める。(三段階評価) 3) 友達のスピーチについて印象に残ったことを伝え合う。 4) 振り返りシートを使って自己評価をする。	発表する側、聞く側の留意事項を振り返る。 全員の発表が終わったらオーディエンスカードを基に気いたことを伝え合う。 オーディエンスカードは児童にとって、悩む必要がなく、評価できるものを作る。